

事業所名		こんまる若久				支援プログラム				作成日		2025 年		2 月		5 日	
法人（事業所）理念		児童や保護者が安心出来る環境を作る 関わる関係者との連携や発信を頻繁に行う 出来る出来ないにかかわらず沢山の経験から色々な事に挑戦し自信をつける 生きていく力を身につけて将来の自立に必要な支援を行う															
支援方針		子どもたちが主体となり固定概念にとらわれず、色々な活動に挑戦する															
営業時間		10 9 時 00 00 分から				19 18 時 00 00 分まで				送迎実施の有無		あり なし					
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	来所時の検温やスタッフによる目視で健康状態の確認を行う。 児童の特性及びそれぞれの発達の過程などに配慮しながら些細な変化に気づくことが出来る様な細かな観察を行う。 食事や排泄など身の回りのことが自分で出来る様になる。															
	運動・感覚	リズム遊びや制作を行うことで 耳・体・目・手を動かし視覚 聴覚 触覚 などの感覚等の発達を伸ばす。 マット・ボール・トランポリンなどを用いた活動で体の使いかたや道具の使いかたを学ぶ感覚運動を行う。 公園や広場で遊具などを使い運動の基本的感覚能力を養う。															
	認知・行動	自発的に危険を回避することが出来るような支援を行い、危険回避行動が取れるようになる。 急な予定変更でも、問題がないよう様に声掛けを行う。															
	言語 コミュニケーション	自分の考えを相手にわかりやすく伝えることが出来る様になる。 相手の話を聞くことが出来る様になる。															
	人間関係 社会性	人との関わりの中で自分から働きかけられる様な支援を行う。 集団への関わりの中で指示やルールを理解して、最初から最後まで参加できる様な支援環境作りを行う。															
家族支援		連絡帳や公式ライン等のツールを通して子どもの特性や様子についての共有を行う。 の困り事、相談事を聞き事業所での様子を共有する。 保護者会を年2回行い保護者様の意見などを聞く機会を設けている。								移行支援		小集団での活動に継続して参加できる様に支援を行う。 自由時間の際にも可能な限り他の児童などと遊ぶことが出来る様に促す。					
地域支援・地域連携		定期的な地域活動への参加。 事業所主催のイベントで地域との交流を行う。 事業所近隣の清掃活動を行う。								職員の質の向上		就業時間内で児童の支援に必要な研修を行っている。 会社が費用を全額または一部負担で外部研修、資格取得などができる。					
主な行事等		初詣・豆まき・ひな祭り・歓迎遠足・お花見・七夕会・夏祭り・敬老の日・ハロウィン・親子遠足・クリスマス会・クッキング等 保護者様も一緒に参加出来る行事も取り入れ、 日頃の様子を見られる環境を提供している。															